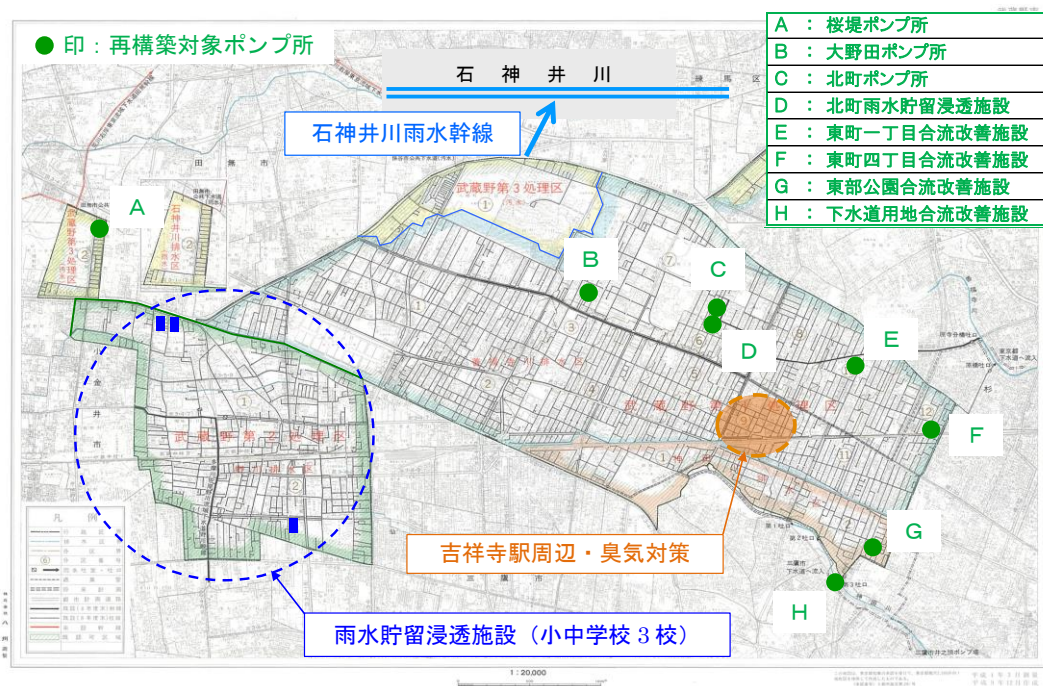


1. 短期計画（平成 30～34 年度）

短期計画では、下水道施設のストックマネジメントとして管路施設の点検・調査、再構築、及びポンプ施設の再構築、小中学校への雨水貯留浸透施設設置及び石神井川雨水幹線の整備等の事業を中心に実施する。また、市民とのパートナーシップとして、水環境連続講座「水の学校」も引き続き実施する。

短期計画における実施事業

項目	施策・事業費（百万円）			H30～49 合計	
	短期計画（H30～34）	中期計画（H35～39）	長期計画（H40～49）		
1. 下水道施設のストックマネジメント	①管路施設の点検・調査	274	1,857	3,703	
	②管路施設の再構築	1,524			
	③ポンプ施設の再構築	58			
	計	1,856			
2. 浸水対策、水環境の保全・創出	①小中学校への雨水貯留浸透施設設置	199	155	8,998	
	②石神井川雨水幹線の整備	565			
	③住宅への雨水貯留・浸透施設設置の助成	155			
	計	919			
3. 広域的な汚水処理	①区部流入・流域下水道建設負担金	454	5,652	8,458	
	②井の頭ポンプ場に関する負担金	99			
	計	553			
4. 下水道臭気対策	①下水道臭気対策	34	25	50	109
5. 公営企業会計の運用	①公営企業会計の運用	100	81	162	343
6. 啓発の推進	①水環境連続講座「水の学校」	10	10	20	40
合計		3,472	7,780	21,391	32,643



短期計画における実施事業・位置図

用語:

(1) 下水道施設の ストック マネジメント

①管路施設の点検・調査

平成 31 年度に策定する予定のストックマネジメント計画に基づき、定量的に施設の劣化の実態や動向を確認するため、管きよ、ます、人孔、人孔蓋、取付管を含む管路施設の点検、調査を実施する。点検、調査は、目視やテレビカメラ、管内潜行等による。

②管路施設の再構築

ストックマネジメント計画に基づき策定した効率的な再構築計画により、管路施設の更生を行う。その際、あわせて管路施設の耐震化も図る。

③ポンプ施設の再構築

ストックマネジメント計画に基づき策定した効率的な再構築計画により、市内 8 ヶ所のポンプ施設（桜堤ポンプ場・大野田ポンプ場・北町ポンプ場・北町雨水貯留施設・東町一丁目合流改善施設・東町四丁目合流改善施設・東部公園合流改善施設・下水道用地合流改善施設）の更生を行う。特に昭和 52～63 年に整備された桜堤・大野田・北町の 3 ポンプ所は、年々老朽化していることから、適切な維持管理を行いながら優先的に更生を行う。

(2) 浸水対策、 水環境の 保全・創出

①小中学校への雨水貯留浸透施設設置

平成 29 年度末時点では、15 の市立小中学校に雨水貯留浸透施設を設置した。今後は、平成 33 年度までに、野川排水区の 3 校への設置を完了させる。

②石神井川雨水幹線の整備

第 3 処理区（分流式下水道）から西東京市を經由して、石神井川に雨水を排出するための石神井川雨水幹線については、既存の雨水幹線の老朽化が著しいことから、西東京市との協議結果を受けて、代替となる雨水幹線の整備が平成 28 年度に完了した。今後は既設管からの切替工事を行う。

③住宅への雨水貯留・浸透施設設置の助成

下水道管きよに流入する雨水を減らすため、住宅への雨水貯留浸透施設設置に関する助成を行う。

(3) 広域的な 汚水処理

①区部流入・流域下水道建設負担金

武蔵野市内で発生した汚水は東京都が管理する水再生センターで処理されているため、汚水を処理するための施設整備及び保全、更新等に要する費用に対する負担金を毎年度東京都に支払う。

②井の頭ポンプ場に関する負担金

三鷹市との共同設置による井の頭ポンプ場の建設・改良工事等の費用を、三鷹市に支払う。

(4) 下水道臭気対策

①下水道臭気対策

吉祥寺駅周辺等のイメージアップと快適なまちづくりのため、これまでの臭気調査結果に基づき、外国人観光客の来街が見込まれる平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、助成制度等を通じて臭気対策を行う。平成 33 年度以降は、未調査の三鷹駅、武蔵境駅周辺の臭気対策にも着手する。

(5) 公営企業会計の 運用

①公営企業会計の運用

平成 32 年度に公営企業会計へ移行する予定であるため、関係部局との連携・調整や独自の会計システムの導入検討の準備を進める。平成 32 年度以降は会計システムの運用、保守、入れ替えの費用が発生する。公営企業会計へ移行することにより、経営成績・財政状態の的確かつ早期の把握、経営の弾力化が図られる。

(6) 啓発の推進

①水環境連続講座「水の学校」

平成 26 年度にスタートした水環境連続講座「水の学校」を継続して実施する。これにより、市民の体系的な水環境への理解を深め、市民の自発的な行動を促す。